

ジオ
地球を感じる
冒険の旅へ。



SHIRATAKI GEOPARK

Obsidian and Archaeological Sites

地球で遊べ。 ここは大地のテーマパーク

Welcome to the Shirataki Geopark!

地球と人の物語

ジオパークとは、私たちがくらす地球という星の活動を記録する貴重な岩石や地形などの「遺産」を守り、これからの未来に伝えていくための「活動」を行っている地域のこと。遠軽町はその「地球の遺産」の宝庫で、白滝ジオパークでは、さまざまな遺産から地球と人をつなぐ物語を見ることができます。

Check!

ここがかつては海だったって信じられる？

1億年前、北海道の西側はユーラシアプレートに、東側は北米プレートの上であり、2つに分かれていました。この2つのプレートの間には海が広がり、海底にはたくさんの砂や泥がたまっていました。遠軽町の大地の土台は、この海の底にたまった岩石でできています。

Check!

巨大な噴火が起きていたって信じられる？

遠軽町をドライブしていると、巨大な岩や地層が顔をのぞかせています。これらのほとんどが火山の噴火によってできたもの。1,000万年前の遠軽は火山の噴火が次々と起こっていた場所だったのです。

Check!

1万年も続いた
石器工場があったなんて信じられる？

縄文時代より昔、北海道にはじめて人がやって来た頃、遠軽町白滝はたくさんの人で賑わっていました。それもそのはず、ここには黒曜石という優れた刃物になる石が大量にあったのです。彼らは1万年もの間、黒曜石で石器を作り、狩りの旅へと出かけていました。

白滝ジオパークのテーマ

見上げるほど巨大な露頭、目線の先にはきらきらと輝く黒い石。その石の怖さを知っている大人たちは気をつけてと叫びますが、子どもたちはおかまいたしです。

太陽の光を受けて輝くその石を手にとって、ツルツルしたその手触りを感じ、石同士をぶつけてみては、風鈴のような音色を楽しみ、薄いカケラを太陽にかざして、石が透き通っている

ことに驚きます。そして「ガラスみたい」だと気付きます。

この露頭が、ゆっくりと流れてきた溶岩の先っぽであることを子どもたちに伝え、まるで今も動いているかのように、それを受け止めようと横一列に並びはじめました。

白滝ジオパークは、火山の活動によって誕生したこの黒い石が、割るだけで鋭い刃物となり、金属の道具が伝わるまで人類の暮らしを支え続けてき

たという物語を持っています。

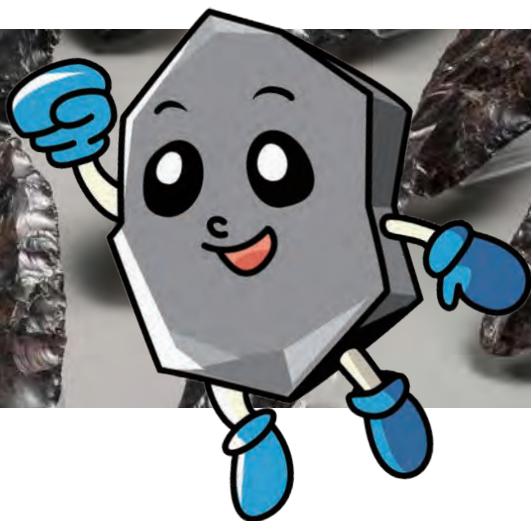
「^{こくようせき}黒曜石」と呼ばれるこの石から見えてくる“地球と人をつなぐ物語”を、白滝ジオパークで楽しく学んでもらいたいと考えています。



ジオキャラ紹介

～ゆかいな仲間たち～

黒曜石から生まれた アンジ君



撮影：佐藤雅彦

白滝の黒曜石から生まれたアンジ君。その昔、黒曜石のことをアンジ（anch-i）と呼んでいたアイヌの人たちに名前をもらいました。好奇心旺盛で旅行好き、けれど天然のガラスである黒曜石から生まれただけにちょっぴり打たれ弱いのがたまにキズ。白滝ジオパークの火山活動のシンボル、黒曜石と私たちをつないでくれるジオキャラです。



高山植物コケモモから生まれた こけもも姫

こけもも姫はアンジ君の妹。2万年前から白滝の大地に咲く高山植物コケモモから生まれました。お兄ちゃんのアンジ君の世話を焼くしっかりもの。でも、実はとってもロマンチスト！肉食女子の一面も。真っ赤なコケモモの実はジャムやソースにもなり、2万年前の旧石器人も食べていたかも!? そんな自然と私たちをつなぐジオキャラです。



イベントで、学校で大活躍！

アンジ君とこけもも姫は、白滝ジオパークのイベントや学校の授業にもお出かけします！「ジオパークのこんなこと知りたい」「黒曜石について教えて欲しい」「かわいいキャラクターでイベントを盛り上げたい」など、白滝ジオパークのジオキャラをぜひご活用ください。

【ジオキャラに関するお問い合わせ】

白滝ジオパーク推進協議会 ☎ 0158-48-2020（平日9時～17時）

白滝ジオパーク MAP



大地のメッセンジャー、黒曜石

遠軽町白滝で黒曜石が誕生したのは、今からおよそ 220 万年前もの大昔。もちろん当時のことを知る者は誰一人いません。ですが、火山の噴火を記憶している黒曜石を詳しく調べると、当時どんな噴火が起きたのか、また地球はどんなしくみで噴火を起こすのかがわかります。

黒曜石は、大地の物語を伝えてくれるメッセンジャーなのです。さあ、大地からのメッセージを読み解く冒険に出かけましょう！

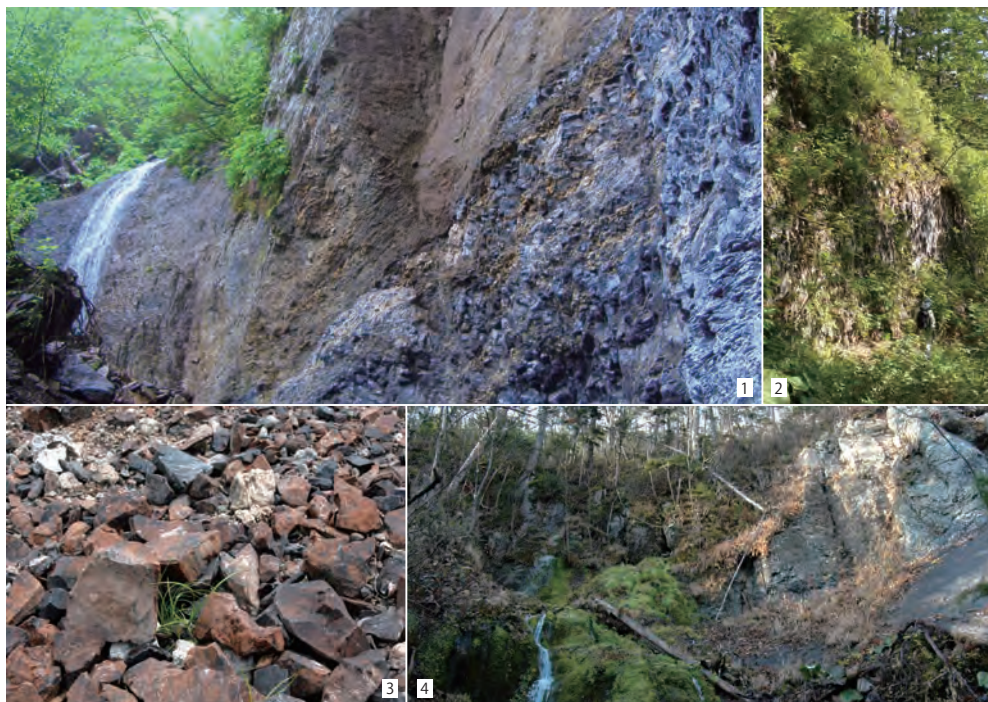
しらたき

生命あふれる大自然



十勝石沢露頭

日本最大の黒曜石のふるさと



白滝黒曜石産地 [MAP 5P-C3~D3]

標高 1,147 ㍎の通称「赤石山」を中心とする日本最大級の黒曜石原産地です。およそ 300 万年前頃に巨大な噴火が起こり、直径約 5 km の「幌加湧別カルデラ」がつけられました。その後約 220 万年前に、カルデラ内の 10 か所もの場所から溶岩が噴出し、黒曜石がつけられました。現在でも黒曜石の露頭をはじめとする火山活動のこん跡が観察できます。

白滝発祥の地から見下ろす絶景



■白滝発祥の地からの眺め 第 6 回惑星地球フォトコンテスト 入選作品 撮影：國分 麻衣子

白滝発祥の地 [MAP 5P-E3]

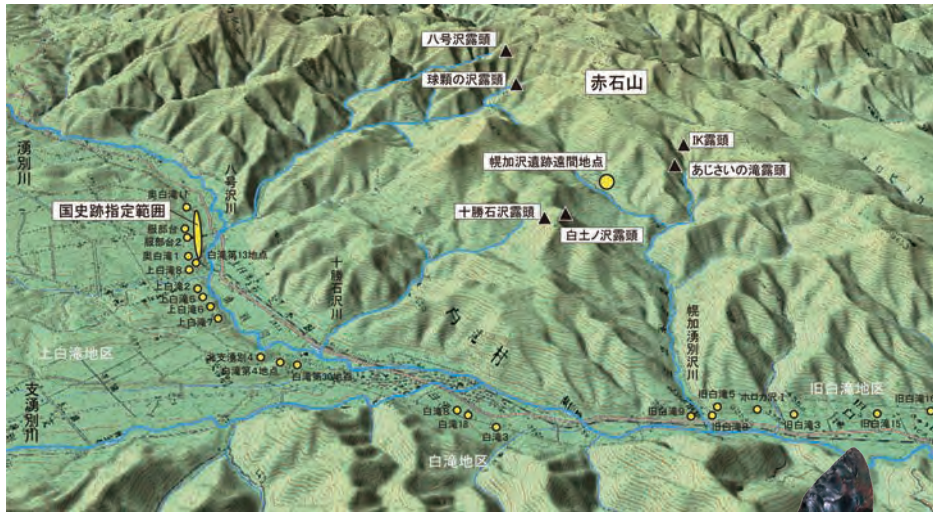
かつて、アイヌ語で大滝を意味する「ホロソウ」と呼ばれ、白い水しぶきを上げる見事な滝があったことから、白滝の地名の由来となったとされています。現在は岩壁の間をぬうように列車が通過する姿を撮影できるスポットとして、“撮り鉄”を引き付ける場所となっています。

旧石器時代の巨大石器工場



【黒曜石露頭の数々】

- ① I K露頭、②球かの沢露頭、③赤石山山頂、
④あじさいの滝露頭、⑤八号沢露頭



■白滝遺跡群と黒曜石産地の位置関係 (カシミール3Dで作成)

国指定史跡「白滝遺跡群」 [MAP 5P-C4]

湧別川の河岸段丘上に立地する旧石器時代（約2万5千～1万年前）の遺跡群です。100か所あまりの遺跡が発見されており、そのうち22か所で発掘調査が行われました。現在は発掘調査は終了し現場は残されていませんが、「石器工場」とも例えられる膨大な数の黒曜石で作られた石器の数々は、埋蔵文化財センター（P16）にて保管・展示され、見学することができます。



■長さ 30cm を超える
巨大な石槍
【重要文化財指定資料】

噴火が生み出した雄大な高原



■雲海に包まれた天狗平 撮影：神山 利彦

天狗平 [MAP 5P-B5]

天狗岳のふもとに広がるなだらかな地形は、火山の噴火が生み出しました。火山灰や軽石などが高温・高速で地上を流れる「火砕流（P9 コラム）」と呼ばれる現象が、絶景の秘密です。白滝市街地や黒曜石溶岩の断面「十勝石沢露頭」も遠望することができる、展望スポットです。

標高 1,700 メートルのお花畑



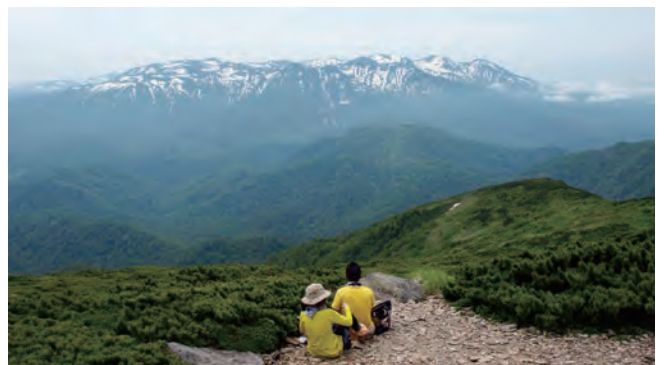
コマクサ



イワブクロ

ひらやまと高山植物 [MAP 5P-A6]

その名のおり平坦な形をした山で、主に粘り気の弱い玄武岩質安山岩からできています。エゾナキウサギが生息し、コマクサなど高山植物のお花畑が見られます。



■ひらやま山頂からの展望、大雪の山々が広がる

まるせつぷ

太古の姿を残す森



■いこいの森の裏手には、多数の風穴を伴う崖錐斜面にアカエゾマツが生長している

風穴がつくりだす氷期の森

いこいの森風穴群と高山植物 [MAP 5P-F4]

いこいの森裏手の林道沿いでは、溶結凝灰岩（P9 コラム参照）が崩れてたまった斜面（崖錐斜面）にアカエゾマツ林が広がっています。この斜面にできた多数の風穴によって地表気温が低くなり、コケモモなどの高山植物やコケ類が生育し、2万年前の氷期さながらの環境をつくりだしています。



アイヌキノサムシ

風穴周辺にはアイヌキノサムシやラウスオサムシといった固有の昆虫も生息しています



■武利の風穴 [MAP 5P-F3]
夏場でも風穴内につらが残る



■コケモモ群落
武利風穴の周辺には高山植物が生育する



■エゾナキウサギ
風穴周辺や高山のガレ場を棲みかとする

国内で唯一動態保存された森林鉄道



■いこいの森園内を周遊する『雨宮 21号』

北海道遺産 森林鉄道蒸気機関車『雨宮 21号』 [MAP 5P-F4]

木材のまち・丸瀬布では1928年～1958年の間、国産の森林鉄道が木材の運搬と住民の足として活躍していました。その後、役目を終えた「雨宮 21号」でしたが、町の有志の尽力で動態保存されることになり、現在もいこいの森園内を周遊しています。

- 所在地 遠軽町丸瀬布上武利 80
- 開園期間 4月下旬から10月下旬
- 入園料 無料（ただしキャンプ場利用の際は入材料がかかります）
- 雨宮 21号乗車体験 高校生以上：800円、4歳以上：400円（団体30名以上で2割引）
- 問い合わせ ☎ 0158-47-2213（丸瀬布総合支所産業課）



▲詳細はこちら
（遠軽町HP）

山彦の滝

火砕流がつくった台地



■映画「モスラ」のロケ地にもなった大平高原、360度のパノラマが広がる

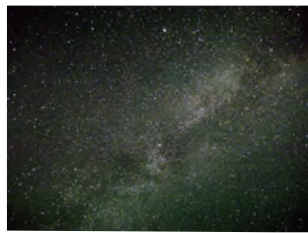


■大平の風穴 [MAP 5P-E4]

たいへいこうげん

大平高原

[MAP 5P-E4~F4]



■夏の夜空に満天の星空が広がる

標高 500 ㍍付近で突如現れる大平高原は火砕流（右下コラム参照）がつくった台地です。まるで美瑛の丘と見間違ふような地形で、日中の景観だけでなく、夏の星空も絶景のおススメスポットです。

生きた昆虫に出会える！

ココにも注目！



丸瀬布昆虫生態館

[MAP 5P-F4]

武利川に代表される長い溪流と河原が広がる丸瀬布の地形。そんな豊かな溪流を代表するオオイチモンジは、丸瀬布のシンボルです。丸瀬布昆虫生態館では、豊かな生態系を、生きた昆虫たちから感じることができます。

■所在地 遠軽町丸瀬布上武利 68

■開館時間 9:00 ~ 17:00 (4 ~ 10月)
10:00 ~ 16:00 (11 ~ 3月)

■休館日 火曜日、年末年始

■入館料 一般：420円

小中高生：160円

幼児：無料

■問い合わせ ☎ 0158-47-3927



オオイチモンジ

飼育だけでなく、人工羽化にも成功。



▲詳細はこちら
(遠軽町HP)

厳冬期に氷結する滝



■落差 28m の滝が、厳冬期には巨大な 1 本の氷柱となる



■ライトアップされ幻想的な姿をみせる

山彦の滝 [MAP 5P-E4]

山彦の滝は、垂直に落下する高さ 28 ㍍の滝です。滝の裏側へ回って見ることができるので、「裏見の滝」とも呼ばれています。

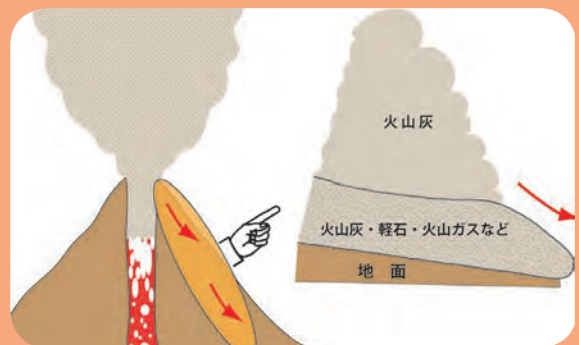
滝の土台は数 100 万年前の溶結凝灰岩（下コラム参照）で、さまざまな岩石を取り込んでいる様子が観察できます。また、山彦の滝よりさらに 500 ㍍ほど奥へ向かうと、姉妹滝の「鹿鳴の滝」があります。

解説コラム

かさいりゅう ようけつぎょうかいがん 火砕流と溶結凝灰岩

かさいりゅう
火砕流とは、火山が噴出した時に軽石や火山灰、火山ガスなどが高温・高速で地上を流れ下る現象のことです（下図）。地上を一気に流れた軽石や火山灰などのバラバラな石が積もると、それらがギューギューに押し固められ、大きな岩石になることがあります。こうして押し固められてできた岩石のことをようけつぎょうかいがん「溶結凝灰岩」と呼びます。

オホーツク地域で「オホーツク軟石」のあだ名で呼ばれることがあるこの石は、遠軽町の石碑、庭石、建物の基礎などに利用されています。



火砕流の模式図

いくたはら

北ノ王が支えたまち

北ノ王鉱山跡

ゴールドラッシュに沸いたまち



■露天掘りに使用されたスチームシャベル



■わずか1年で建設された巨大な製錬所



■掘り出した鉱石は、トロッコで運搬した

北ノ王鉱山跡 [MAP 5P-14]

生田原地域は、およそ1,100万年前の火山活動によってもたらされた熱水鉱床地帯です。「北ノ王鉱山」は、大正から昭和にかけて採掘が盛んに行われ、昭和11年には産金量道内第4位を記録しました。現在でもその露天掘りの跡や、大きな製錬所の煙突と建物跡が残されています。

※国有林内のため立入には許可が必要です。



■北ノ王鉱山跡入口の看板



■分析所へと登る階段



■巨大な製錬所の建物跡が今も残る

北ノ王の名を受け継いだ癒しの空間



生田原温泉ホテル「ノースキング」 [MAP 5P-14]

遠軽町周辺では、500万年前より古い地層にすき間がほとんど残っていないので、大量の地下水はとれません。そのかわり、硬い岩盤の割れ目を地下水が流れていることがあります。生田原温泉は、地下に粘土鉱物が多い変質岩の地層から湧出する「割れ目タイプ」のアルカリ性の冷鉱泉で、お肌がつるつるになる「美人の湯」として知られています。

■所在地 遠軽町生田原 871-4

■入浴料 中学生以上：600円、3歳以上：350円

■泉質 アルカリ性低張性冷鉱泉、地下300mから湧き出る冷鉱泉

■泉温 16.3度 無色透明、無味無臭 ■湧出量 300ℓ/分 pH値：8.8

■問い合わせ ☎ 0158-45-2336



▲詳細はこちら
(ノースキングHP)

2つに分かれた巨大な流紋岩の岩脈



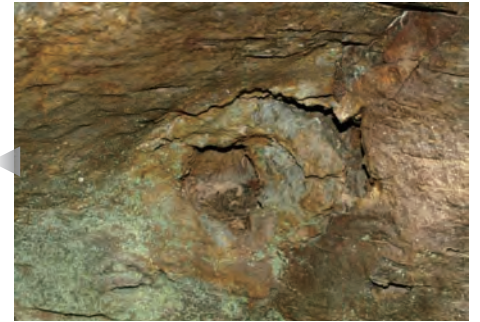
■巨大な2つの岩が屏風のように並ぶ



■まるで瞰望岩のような風貌をみせる



■流紋岩の流状構造がみてとれる



■ところどころに球かができていた丸い穴が観察できる

びょうぶいわ
屏風岩 [MAP 5P-H5]

粘り気の強い流紋岩溶岩の岩脈です。流状構造や斑状構造が見られることが特徴です。ところどころに結晶のかたまり（球か）ができていた痕を観察することができます。

まるで瞰望岩のような風貌ですが、でき方は全く異なる生田原ならではの巨岩です。

オホーツクの大地を詠む



■歌句碑ロード



■オホーツク文学館（JR生田原駅併設）

歌句碑ロード
オホーツク文学館 [MAP 5P-I4]

道内外から募った短歌や俳句の碑を連ねた散歩道と、オホーツク圏を舞台とした著名な作家の作品、自筆原稿や関連資料 500 点を展示する文学館です。

■問 い 合 せ ☎ 0158-45-2343 (文学館・図書館)

世界の木のおもちゃが大集合。

ココにも注目!



ちやちやワールド [MAP 5P-I4]

世界約 40 カ国の木のおもちゃを集めたミュージアム。からくりおもちゃやくるみ割り人形など大小 1 万点ものおもちゃを展示・収蔵しています。また、影絵の巨匠として知られる藤城清治氏の「コロポックル影絵美術館」も併設しています。

- 所在地 遠軽町生田原 143-4
- 開館時間 9:30～18:00 (4月～10月)、10:00～17:00 (11月～3月)
- 休館日 無休 (4～10月)、月曜日、年末年始 (11月～3月)
- 入館料 中学生以上：630円、小学生：320円、幼児：無料
- 問い合わせ ☎ 0158-49-4022



▲詳細はこちら
(ちやちやワールドHP)

噴火で生まれた町のシンボル



がんぼういわ
インカルシ（瞰望岩） [MAP 5P-12]

高さ 78 m の市街地の中心にそびえる大きな岩です。インカルシ (inkarus-i) は「ながめる・いつもする・ところ」という意味のアイヌ語で、町名の由来にもなっています。また、国の名勝「ピリカノカ」の一つとして指定を受けています。

この岩は、水の中の噴火で出来たとされています。このことから、噴火したおよそ 700 万年前の遠軽一帯は水の中だったことがわかります。

*名勝「ピリカノカ」(アイヌ語で美しい・形)は、アイヌ文化に彩られた自然の風致景観を持つ景観文化財です

湧別川に育まれた遠軽の歴史

じょうもん さつもん
縄文～擦文時代の遺跡 [MAP 5P-12]

遠軽市街地では、生田原川と町の中心部を流れる湧別川とが合流し、オホーツク海に注いでいます。現在の私たちの暮らしの場は、湧別川水系が作り出した階段状の平らな地形（河岸段丘）を利用しています。

こうした地形は、大昔から人々の暮らしの場として使われてきました。遠軽市街地の小高い丘（段丘の上）には、たくさんの遺跡が見つかっています。中には住居跡のくぼみがわかる場所も残されています。こうした遺跡を巡りながら、えんがるの町をブラブラしてみたいかがでしょうか。



◀寒河江遺跡から出土した擦文土器

■約 1,000 年前の擦文時代の遺跡跡
遠軽町東町にある寒河江遺跡の発掘当時の写真です。1991 年に撮影されたもので、現在写真の奥側には野球場や武道館、多目的グラウンドが建設されています。四角形の住居跡がたくさん見つかかり、出土した土器（写真上）は、埋蔵文化財センター (P16) に展示しています。現地では今でも住居跡のくぼみを見ることができます。

※遺跡については、白滝教育センター (0158-48-2213) まで

太陽に愛されたまち

えんがる

インカルシ（瞰望岩）

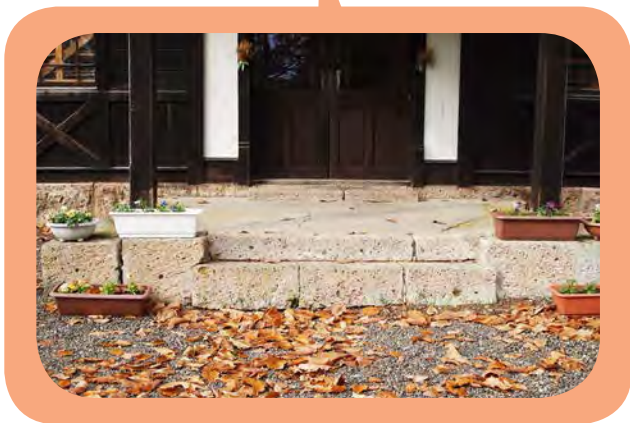


■北海道の有形文化財に指定された礼拝堂

北海道家庭学校&博物館 [MAP 5P-11]

北海道家庭学校は、留岡幸助によって1914年(大正3年)に創設された全国で唯一の私立男子児童自立支援施設です。1919年(大正8年)に学校のシンボルとして建設された礼拝堂は、北海道の有形文化財に指定されています。

礼拝堂の土台の石に注目してみましょう。この石は「溶結凝灰岩(P9コラム参照)」と呼ばれる火山の噴火でできた石です。地元では「オホーツク軟石」とも呼ばれ、庭石としても使われています。活火山のない遠軽でも、かつて巨大な噴火があったこん跡が残っています。



■礼拝堂の基礎に使われている「オホーツク軟石」



■家庭学校博物館

敷地内にある博物館では、家庭学校や遠軽にまつわる貴重な品々が展示されています。

※見学の際は要問い合わせ ☎ 0158-42-2546

火山と川がつくりだす遠軽の町なみ



■ロックパレースキー場から望む遠軽町と湧別町の街並み



■太陽の丘えんがる公園のコスモス園 [MAP 5P-12]

太陽の丘えんがる公園 [MAP 5P-12]

火砕流(P9コラム参照)によってつくられた地形を生かした、四季折々の花や緑に彩られる広大な公園です。夏から秋にかけては、黄花コスモスや混合コスモスなどが1,000万本も咲く、日本最大級のコスモス園となります。この時期、遠軽の一大イベントである「コスモスフェスタ」が開催されます。

- 所在地 遠軽町丸大
- 期間 4月下旬~10月下旬(降雪期は閉園)
- 料金 高校生以上:600円 小・中学生:300円 ※コスモス開花時期のみ有料
- 問い合わせ ☎ 0158-42-4819 (遠軽町経済部商工観光課)



▲詳細はこちら
(コスモス園HP)

探検

地球を感じる冒険拠点



1F 白滝ジオパーク交流センター



冒険の旅はここからスタート！

[MAP 5P-D4]

白滝ジオパークの拠点施設です。遠軽町の観光情報の発信のほか、各ジオサイトについても紹介しています。また、ジオツアーの参加申し込み、持ち物や装備品の確認などを行うことができます。

神秘の黒曜石

日本最大級の黒曜石産地、白滝地域における黒曜石誕生の物語を展示と映像で解説。



展示室内は柱状節理をイメージした六角形でデザインされています。



地域の成り立ちから地球のしくみや歴史を学ぶための展示がいっぱいです。



上下2面スクリーンの“ジオシアター”では、まっ赤な溶岩が足元を流れてきます。

施設案内

2F 遠軽町埋蔵文化財センター



1F 白滝ジオパーク交流センター



【2 階】 遠軽町埋蔵文化財センター

【1 階】 白滝ジオパーク交流センター

■開館時間 9:00～17:00

■休館日 5月～10月：無休

11月～4月：土・日・祝、
年末年始(12/31～翌1/5)

■入館料 【2 階】一般：320円、
高校生以下：160円、幼児：無料

【1 階】無料



上：『黒曜石探検隊』であじさいの滝露頭（P5-④）を見学。
 下段左：地元のツアーガイドが黒曜石の不思議について解説。
 下段右：赤石山山頂（P5-③）で記念撮影。人の頭よりも大きな黒曜石の塊に出会える。

ジオツアーに参加して、
 大地の物語に耳を傾けよう。



主なツアーの年間スケジュール												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
準備期間		・黒曜石産地を巡るジオツアー ・ひらやま登山 など					・厳冬の山彦の滝観察会 ・森林浴・歩くスキー					
降雪期		雪解け～降雪までの期間					降雪期					

※ツアーについてのお問合せは、☎ 0158-48-2020 まで

地球のしくみや、人の歴史、ジオパークってなんか難しそう…。そんな方も大丈夫！白滝ジオパークでは、大地の成り立ちからその面白さまで解説してくれるガイド付きの「ジオツアー」を開催しています。

日本一の黒曜石産地、白滝赤石山も普段は立ち入ることができない山の奥にあります。ジオツアーに参加すると、面倒な手続きがいらず、ガイドも付いてくれるので安心して楽しむことができます。事前予約制で少人数のツアーにも対応できます。

北海道の深山幽谷をおもいきり満喫しましょう！

冒険に出かける前に…

北海道だけに生息する日本最大の陸生ほ乳類であるヒグマ。白滝・丸瀬布地域も有数の生息地です。恐ろしいイメージばかりが先行しているヒグマですが、もともと臆病で、個性豊かな動物です。



■熊よけの鈴とスプレーは携帯しておきたい装備品です。

自然の中で避けたいのが、バッタリ遭遇で、お互いパニックになってしまうと必ず事故につながります。こうした危険を回避するためにも、交流センターで事前の装備確認と正しい知識を身につけましょう。



体験

見て、触れて、仕掛けいっぱい
の常設展示



巨大石器工場の謎に迫る

遠軽町の遺跡より出土した埋蔵文化財の収蔵・展示・活用を行う施設です。

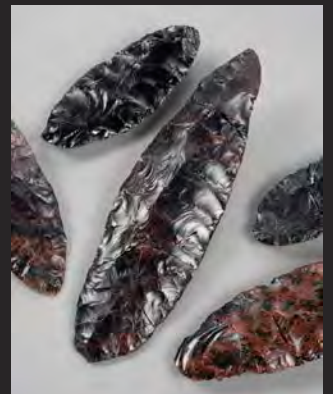
旧石器時代の石器工場「白滝遺跡群」のすべてを、展示と体験を通して学ぶことができます。



黒曜石ギャラリー床面の黒曜石は、2010年度「ジオパーク大使（白滝小6年生）」が展示しました。

重要文化財「北海道白滝遺跡群出土品」

700万点を超す出土品の中から、北海道の旧石器時代を代表する資料1,858点が重要文化財に指定されています。2万年前の人々が、黒曜石からどのように石器を作製したかが明らかになった、世界的にも貴重な資料の数々です。



撮影：佐藤雅彦

■高さ70cm以上、重さ数十kgもある原石。現代の専門スタッフの手によって、ここまで復元された



ゴジラと呼ばれる石器

重要文化財の中で、「ゴジラ」と呼ばれてきた石器があります。これは「接合資料」といい、石器のカケラをジグソーパズルのようにくっつけて、元の黒曜石の塊まで復元したものです。旧石器人は、こんな大きな石を山頂から遺跡までどうやって運んできたのでしょうか。



上：「大昔のくらし体験」でエゾシカの毛皮で作ったテントの中でくつろぐ子どもたち。
 右：「石器づくり体験」天然ガラスの黒曜石は、コツさえつかめば子どもでも簡単に割ることができる。小さなカケラが飛び散るので、ゴーグル・手袋と、太ももを保護する当て布（エゾシカ毛皮）は必ず身につけてもらう。

毎日できる。工作体験で先人のくらしと知恵を学ぶ。



1



2



3



4

豊富な体験メニュー

埋蔵文化財センターでは、黒曜石を使った石器づくりや滑石を削って作るまが玉づくり (a) 以外にも豊富なメニューを体験できる。土器づくり (1,b) や色ガラスを溶かして作るとんぼ玉づくり (2,c)、ガラス彫刻ペンで黒曜石に彫刻するアクセサリー作り (3) のほか、エゾシカの角をヤスリで削ってペーパーナイフなどを作る骨角器づくり (4,d) が体験できる。



インフォメーション

体験学習メニュー

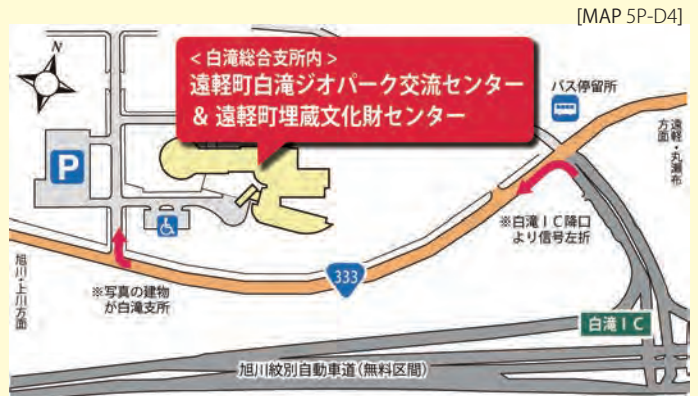
*体験学習料のほか別途材料代がかかります

メニュー	材料代	所要時間
石器づくり (対象年齢：小学3年生～)	300円	60～90分
まが玉づくり (対象年齢：5才～)	400円	60～90分
アクセサリーづくり (対象年齢：小学3年生～)	200円	30～60分
骨角器づくり (対象年齢：小学3年生～)	200円	60～90分
とんぼ玉づくり (対象年齢：小学3年生～)	500円	90～120分
土器づくり (対象年齢：小学3年生～)	520円	90～120分
体験学習料	一般 (一回) 110円 高校生以下 (一回) 60円	

■所在地 遠軽町白滝 138-1 (白滝総合支所 2階)
 ■問い合わせ ☎ 0158-48-2213 / FAX 0158-48-2374



▲詳細はこちら (遠軽町HP)



[MAP 5P-D4]

恵み

オホーツクの海の恵みと北大雪の山の恵みを一度に堪能

味わう

道内一標高の高いじゃがいも畑 白滝じゃが

標高 400 ㍍前後の段丘面上で栽培される「白滝じゃが」は、冷涼により病害虫にかかりにくく健康に育ち、また、昼夜の寒暖差が大きいため、収穫直後から「ホクホク」のじゃがいもが楽しめます。



上：白滝じゃが生産部会のみなさん。生産者のみなさんたちが出版した「じゃがリンピックのレシピ本」も好評発売中です。
写真提供：白滝じゃが生産部会
右：レシピ本に掲載されているナイスアイディア料理の「揚げ揚げコロケ」

うまいべさ!



■アスパラをそのまま大きく成長させ、光合成により栄養をたっぷり蓄えた親茎の株から出る新芽を収穫する立茎栽培のアスパラです



特産のグリーンアスパラは格別 遠軽によつきーず

アスパラと言えば春ですが、遠軽では夏アスパラも出荷。春のアスパラに比べると緑色がやや薄いですが、皮が柔らかくとても食べやすくなっています。ビタミン類やミネラルも豊富に含まれ、美肌効果などの各種効果もあるといわれています。

癒す



岩盤浴もおススメ 生田原温泉

[MAP 5P-I4]

J R石北本線生田原駅から徒歩 2 分。アルカリ性冷鉱泉でお肌つるつる。ラジウム岩盤浴もおススメです。

生田原温泉ホテル「ノースキング」

☎ 0158-45-2336

奥山の秘湯

瀬戸瀬温泉 [MAP 5P-G4]

瀬戸瀬は、アイヌ語で「セトシ（鳥の巣の多い・ところ）」という意味の地名。自然豊かな奥山の秘湯を堪能できます。割れ目タイプのアルカリ性単純温泉。

瀬戸瀬温泉セトセ温泉ホテル

☎ 0158-44-2021



お肌つるつる美人の湯 丸瀬布温泉

[MAP 5P-F4]

「マウレセブ（3つの川の集まる・ところ）」という意味のアイヌ語が地名の由来といわれている丸瀬布。この温泉も割れ目タイプのアルカリ性単純温泉。

マウレ山荘ボッケの湯 ☎ 0158-46-8039

丸瀬布温泉 やまびこ ☎ 0158-47-2233



感じる



北大雪の大地と風を感じる まきば北海道

[MAP 5P-C5]

約 100 万年前の火山活動によってつくられた北大雪の山々。山間部には 5 月頃まで雪が残り、吹き下ろしてくる風は遅い春の訪れを告げてくれます。そんな北大雪の大自然を、40km にわたる広大なトレッキングコースで馬と触れ合いながら感じる事ができます。

まきば北海道

☎ 090-6876-2975 ※ヘルメットなど無料貸出あり



▲詳細はこちら
(まきば北海道HP)

北大雪の恵みを滑って満喫！

TENGU CAT-SKI GUIDES [MAP 5P-B4]

スノーキャット（雪上車）を活用したスキー・スノーボードのガイドツアーと、バックカントリーガイドツアーを行っています。

冬ならではの北大雪の絶景を楽しみながら、極上のパウダーライディングを堪能してみませんか？※パウダー滑走の技術をお持ちの方向けのツアーです。また、パウダー滑走に対応できる滑走装備をご持参いただけます。詳細はお問い合わせください。

TENGU CAT-SKI GUIDES

☎ 090-7584-7238



▲詳細はこちら
(TENGU CAT-SKI GUIDES HP)



写真提供：TENGU CAT-SKI GUIDES

ちょっと寄り道



北海道初！スキー場併設の道の駅

道の駅遠軽森のオホーツク [MAP 5P-I3]

地元食材を使った食事が楽しめるフードコートや地域の特産品が揃うショップがあります。

また、「えんがるロックバレースキー場」と一体となっているので、冬はスキーなどのウィンタースポーツ、夏はスキー場の地形を活かしたツリートレッキングやジップラインなど、一年を通して楽しめる道の駅です。

道の駅遠軽森のオホーツク

☎ 0158-42-4536



▲詳細はこちら
(道の駅遠軽森のオホーツク HP)

イベントカレンダー

期間	イベント名	地域
4月下旬	太陽の丘えんがる公園オープン	遠軽
4月下旬	丸瀬布森林公園いこいの森開園式	丸瀬布
4月下旬～5月上旬	太陽の丘えんがる公園虹のひろばイベント	遠軽
4月下旬～5月上旬	木のおもちゃワールド館ちゃちゃワールド	生田原
5月上旬	ゴールデンウィークイベント	丸瀬布
5月中旬	森林鉄道蒸気機関車・雨宮 21 号夜桜撮影会	丸瀬布
6月上旬	白滝高原キャンプ場オープン	白滝
6月上旬	まるせつぶ藤まつり	丸瀬布
6月上旬	まるせつぶ藤園ライトアップ観賞会	丸瀬布
6月下旬	ひらやま山開き	白滝
7月上旬	遠軽がんばろう夏まつり	遠軽
7月中旬	いくたはらヤマベまつり	生田原
8月上旬	まるせつぶ観光まつり	丸瀬布
8月中旬	ふるさと大好き盆踊り	遠軽
8月下旬	アンジクんのふるさとまつり	白滝
8月下旬	コスモス開花宣言花火大会	遠軽
8月下旬～10月上旬	えんがる太陽の丘コスモスフェスタ	遠軽
9月中旬	えんがる物産まつり	遠軽
9月中旬	森林鉄道蒸気機関車・雨宮 21 号お月見列車	丸瀬布
10月下旬	丸瀬布森林公園いこいの森開園式	丸瀬布
12月中旬	白滝北大雪クロスカントリースキー大会	白滝
1月上旬～3月上旬	巖冬山彦の滝観覧会（日中） 山彦の滝ナイトツアー（夜間）	丸瀬布
2月下旬	湧別原野オホーツク クロスカントリースキー大会	白滝～丸瀬布 ～遠軽～湧別

※イベントは変更または中止になることもあります。

アクセス

北海道遠軽町へは
こちらから



飛行機 / Airports

- オホーツク紋別空港 紋別空港～遠軽市街地（自動車で約60分） / *Approximately 1 hour by car from Okhotsk Mombetsu Airport via the streets of Engaru
- 女満別空港 女満別空港～遠軽市街地（自動車で約90分） / *Approximately 1 hour 30 minutes by car from Memanbetsu Airport via the streets of Engaru
- 旭川空港 旭川空港～遠軽市街地（自動車で約150分） / *Approximately 2 hour 30 minutes by car from Asahikawa Airport via the streets of Engaru



鉄道 / Railway

- J R北海道（石北本線）：特急オホーツク・特急大雪 / JR Hokkaido (Sekihoku Line)
札幌駅～旭川駅～白滝駅～丸瀬布駅～遠軽駅～生田原駅～北見駅～網走駅 / Sapporo Sta.-Asahikawa Sta.-Shirataki Sta.-Maruseppu Sta.-Engaru Sta.-Ikutahara Sta.-Kitami Sta.-Abashiri Sta.



高速バス / Intercity Express Buses

- 北海道北見バス：えんがる号 / Hokkaido Kitami Bus
札幌～旭川～白滝～丸瀬布～遠軽 / Sapporo - Asahikawa - Shirataki - Maruseppu - Engaru



自動車 / Cars

- 札幌JCT～道央道～旭川紋別自動車道経由～白滝IC～丸瀬布IC～瀬戸瀬IC～遠軽IC（約3時間30分）
Sapporo JCT - Hokkaido Expwy - Asahikawa-Mombetsu Expwy - Shirataki IC - Maruseppu IC - Setose IC - Engaru IC - National Highway - Engaru / *Approximately 3 hour 30 minutes by car

ぐるっと一巡り

北海道のジオパーク

北海道には6地域のジオパーク*があり、それぞれ特徴ある大地の遺産があります。洞爺湖・有珠山を中心とする「洞爺湖有珠山ジオパーク」は「変動する大地との共生」がテーマです。

かんらん岩でできた世界でも珍しい山・アポイ岳と固有の高山植物を中心とするのは様似町の「アポイ岳ジオパーク」です。「白滝ジオパーク」、「三笠ジオパーク」、「とかち鹿追ジオパーク」、「十勝岳ジオパーク」を含めた6地域は、「保全」・「教育」・「持続可能な開発」の取り組みを行っています。

* 2022年3月現在



洞爺湖有珠山ジオパーク



アポイ岳ジオパーク

北海道のジオパークは、これからどんどん増えてくるかも!?



▲白滝ジオパークHP

【白滝ジオパークに関するお問合せはこちら】

白滝ジオパーク交流センター 〒099-0111 北海道紋別郡遠軽町白滝138-1（白滝総合支所内）
☎ 0158-48-2020（白滝ジオパーク推進協議会） FAX 0158-48-2374

E-mail : geo@engaru.jp

2022年3月発行